

# 未来

# 会計

第7巻 第1号  
2022年冬号

## MAS監査導入企業の声

社会保険労務士法人SOUMU 株式会社アサショウ

## JENCA登録専門家インフォメーション

株式会社SPLendid21 株式会社経営承継  
株式会社経営改善支援センター 株式会社マネジメントパートナーズ

## 専門家組織による 手厚い経営支援サービスを展開

株式会社ミッドランド経営

## 最良のビジネスパートナーとして 中小企業を成功に導く

MGS税理士法人

### MAS監査導入企業の声

社会保険労務士法人SOUUMU	2
株式会社アサショウ	4

### JENCA登録専門家インフォメーション

### Ja-BIG会員事務所インタビュー

専門家組織による厚みある経営支援サービスを展開するミッドランド経営	10
未来会計で中小企業を成功に導くMGS税理士法人	14

### 連載 考える言葉

季刊 Ja-BIGジャーナル「未来会計」 第7巻 第1号 / 2022年冬号  
 発行日：令和4年1月25日（年4回発行）  
 発行元：株式会社日本BIGネットワーク  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 一広ビルディング 9F  
 TEL 03-6214-2455 FAX 03-6214-2456 URL <http://ja-big.co.jp/>  
 発行人：岩永経世、編集人：本山隆行、編集：島津義光  
 制作協力：株式会社実務経営サービス



草村健一朗先生（左）と林 弘子先生（右）

## KPIを活用してスタッフの改革を推進

### 社会保険労務士法人SOUUMU（執筆 株式会社アシスト関東）

#### 宇都宮の中小企業を支える人事・労務のプロフェッショナル

社会保険労務士法人SOUUMUは、栃木県宇都宮市に拠点を構える社会保険労務士事務所です。同事務所は2002年に、社会保険労務士の草村健一朗先生が開設した個人事務所が母体となっています。

開業以来、延べ200社以上の企業の子専門パートナーである社会保険労務士として、社会保険や労働保険制度を中心とした、労務管理に関わるさまざまな相談や実務に対応してきました。

ように伝えたらよいかと提案しておられたところでした。

せっかく入社してくれた社労士さんですから、一緒に会社を担っていくための意識改革をしてほしい。そのような草村先生のご期待のもと、アシスト関東のMAS監査サービスを導入していただきました。

振り返ってみて、MAS監査契約の決め手は何だったのかと考えてみますと、やはり法人成りして1年目で課題がたくさん見えていたこと、「將軍の日」の案内状のタイ

ミングがちょうどよかったことだと思います。

**KPIを活用して目標を明確化**  
 草村先生は、MAS監査を導入することで、スタッフが自分自身で業務に関する課題・問題を提起し、主体的にそれらを解決する能力を身に付けてほしいと考えていらっしゃいました。

そこで、法人部門がチームとしてひとつになるため、営業から仕事の回し方まで研究するような月次会議を行うことにしました。

1年目は、草村先生の立てた経営計画について説明し、その内容を理解してもらうことから始めました。草村先生は、将来的にはご自身がなくても経営できるようにしていきたいと考えていて、数字は全てをオープンにしているということでした。しかし、法人部門の社員たちは、数字を見ても分からない状況でしたし、あまり興味がないという感じでした。そこで毎月、基本的な損益と資金の説明をすることで、少しずつ理解してもらえるようになってきたと思います。

会議における最大のミッションは、お客様への気配りやご提案を、自分たちで行えるようにすることでした。草村先生からは、お客様へのお声がけとアクションを、チームとしてやってほしいという要望がありました。

そこで、お声がけの件数と、アクションを起こした件数を、KPIの指標にして議

題の中心にすることにしました。法人チームとして、毎月のお声がけ件数を5件、アクション件数を3件と設定しました。

しかし、最初のうちは日常業務に追われ、お声がけができない、アクションが起これないようでした。そこで、時間をどうやってつくるか、効率のよい仕事の回し方を法人チームとして考え、実行してもらい、結果を次回に報告してもらいました。

どのような変化があったのかを会議のなかで話し合いながら、次に取り組むべき問題は何か、どのようなことができるか考えていきました。そして現在の状況をKPIの数値で見ながら、革新を重ねていきました。

#### 所長の代弁者として組織作りを推進

MAS監査導入後の一番の変化は、正社員もパートも法人チームとしてみんなで助け合いながら、仕事を回せるように動かしたことです。そこから、社会保険労務士法人SOUUMUとしてお客様に何が提案できるのか、お声がけができるのかを、法人チームのメンバーで考えるような流れができてきました。

この流れは加速しており、本年度から来年度にかけての仕掛けを既に作ろうとしています。

こうした取り組みについて、草村先生からは、「普段、直接スタッフに伝えきれない業務に対する考え方や、事務所の方向性なども伝えてもらえて助かっている」というお言葉をいただいています。

からだと思っています。

女性の社労士2名を社員として雇って法人化したものの、草村先生のやろうとしていることがなかなか社員に伝わらないと悩んでおられたところでした。

草村先生は、会計も経営計画もご自分でしっかり作り込んでいて、MAS監査のこともご存じでした。その一方で、社員はまだ経験が少なく、特に法人の仕事任せには、荷が重すぎると感じていらつしやうたようです。

しかし、外回りと2つの部門を抱える草村先生には、事細かく指導する時間が取れないし、女性社員ということもあり、どうご要望をいただいています。

#### 地域社会のインフラとなる土業事務所の成長を支援

社会保険労務士法人SOUUMUは、労務管理業務のDX化を積極的に推進し、顧客・行政・自事務所の三者全ての当事者がどのような環境下に置かれようとも、安心して当たり前の日常生活を過ごせる仕組みを提供し、地域社会を支えるインフラとしての役割を担うことを目指しています。私たちアシスト関東は、そのような取り組みを末永くご支援したいと思っています。

（株式会社アシスト関東 林 弘子）

#### 会社概要

**業 務** 社会保険労務士業務  
**年 商** 3400万円  
**代表者** 草村健一朗（51歳）  
**社員数** 社労士3名、パート4名（有資格者構成は、社会保険労務士3名、第1種衛生管理者1名、RSTトレナー1名、年金アドバイザー2名、ファイナンシャルプランナー4名（重複保持者を含む））  
**MAS監査サービス契約年数** 5年  
**支援事務所** 株式会社アシスト関東

## MAS監査導入企業の声



月次会議の様子